

小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 平成20年8月27日(水)午後7時～午後7時23分
場所 小田原市役所 601会議室

2 出席した教育委員の氏名

- 1番委員 山田浩子
2番委員 青木秀夫 (教育長)
3番委員 桑原妙子
4番委員 安藤實英 (教育委員長)
5番委員 横田俊一郎 (教育委員長職務代理者)

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

学校教育部長	和田豊
生涯学習部長	清水清
生涯学習部次長・生涯学習政策課長事務取扱	時田光章
文化財統括担当参事・生涯学習部文化財課長	塚田順正
教育政策課長	曾我勉
学校教育課長	柳下正祐
教職員担当課長	西村泰和
課長補佐・学事担当主査事務取扱	栢沼一郎
課長補佐兼指導主事・指導担当主査事務取扱	長澤貴
学校保健課長	伊澤秀一
学校保健課長補佐・給食担当主査事務取扱	柳川美恵子
スポーツ課長	篠原祐子

(事務局)

教育政策課課長補佐・教育政策担当主査事務取扱	座間亮
教育政策課上級主査	望月啓一郎

4 議事日程

日程第1 報告第6号 事務の臨時代理の報告（平成20年度9月補正予算）について（教育政策課、学校教育課、学校保健課、文化財課、スポーツ課）

5 議事の概要

(1) 委員長開会宣言

(2) 会議録署名委員の決定…桑原委員、横田委員に決定

(3) 日程第1 報告第6号 事務の臨時代理の報告（平成20年度9月補正予算）について（教育政策課、学校教育課、学校保健課、文化財課、スポーツ課）

提案理由説明…教育長、教育政策課長、学校教育課長、学校保健課長、文化財統括担当参事、スポーツ課長

青木教育長…それでは、報告第6号 事務の臨時代理の報告（平成20年度9月補正予算）についてを御説明申し上げます。市議会9月定例会に係る教育委員会関係の補正予算案について、市長に対し意見の申し出をしました。

これは、小田原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第1項に基づく付議事項でございますが、急施を要し、会議を開くことができなかつたため、同規則第4条第1項により、事務を臨時に代理させていただきます。ついては、同条第2項の規定により御報告するものがございます。細部につきましては、それぞれ所管から御説明申し上げます。

教育政策課長…それでは、ご説明申し上げます。一般会計全体では、9億9,739万円の増額補正で、補正後の金額は、563億2,021万8,000円となります。そのうち、教育委員会全体の補正額は、1億5,638万9,000円となります。お手元の資料を御覧ください。教育政策課分につきましては、(項)小学校費 (目)学校建設費として、富水小学校屋内運動場改築設計委託料を1,600万円、千代小学校新北校舎建築設計委託料を1,500万円、合計3,100万円計上しています。富水小学校につきましては、これまで本市が進めてきた耐震対策の中で、今回、改築が妥当なものと判断し、平成21年度の着工に向けて必要な設計業務の委託料を計上したものです。千代小学校につきましては、千代小学校校舎リニュー

ーアル事業の実施に当たり、学校関係者やP T A、地域の代表者から構成された「千代小学校校舎リニューアル推進部会」を設置し、協議を重ねてきましたが、国が定める児童数に応じた校舎の必要面積を著しく下回っており、総合的な学習の時間や少人数学習など現在の教育課程に対応する教室が無く、学習活動に支障が生じているとともに、放課後児童クラブについても、学校内に設置できず、千代中学校を借りて運営せざるを得ない状況にあります。そこで、推進部会からの校舎の増築要望を受け、平成21年度当初からの着工に向けて、増築に必要な業務の設計委託料を計上いたしましたものでございます。

次に項（3）中学校費 目（1）学校管理費として、橘中学校用地購入費を計上しています。財源としては、市債を6,420万円計上しています。橘中学校のグラウンド面積は、他の市立中学校のグラウンドに比べて大変狭いものであり、部活動においては、野球やソフトボール、テニスなどが競合して十分活動できないため、曜日や時間を定めて活動している状況で、学校教育に支障を来たしております。また、このような状況を地元が憂い、当該地を学校グラウンドとして購入してほしいとの要望も出ておりますことから、購入に必要な経費を計上いたしましたものです。

次に、項（4）幼稚園費 目（1）幼稚園費として、前羽幼稚園園舎耐震補強設計・耐震診断評価取得委託料を計上しています。この園舎につきましては、平成元年度に耐震診断を行った結果、国の定める安全基準を下回っており、耐震補強工事に必要な実施設計等業務を計上いたしましたものでございます。これをもちまして、本市では平成21年度をもって、全小中学校、幼稚園の耐震対策を完了することになります。以上でございます。

学校教育課長…それでは、学校教育課分についてご説明いたします。上段の「歳入」につきましては、「歳出」と関連いたしますので、内容につきましては、「歳出」の方で併せてご説明いたします。最初に、(項)教育総務費(目)事務局費の「生徒指導員賃金」につきましては、非行など生徒指導上さまざまな問題を抱えている中学校に、指導員を早急に派遣し、生徒指導体制の整備をより一層図るため、160万円を計上するものです。指導員につきましては、生徒指導等に対して専門的な知識や経験がある者を雇用する予定

で、学校や関係機関と連携し、問題行動等への効果的な対応をしていく予定でございます。

次に、「学区審議会事業費」につきましては、当定例会でもご報告いたしておりますが、片浦中学校の生徒数が少子化の進行等により減少してきていることから、平成 20 年 1 月に、保護者や地域の代表者等で構成する「小田原市立片浦中学校のあり方を考える委員会」を設立し、片浦地区の子どもたちにとって最も望ましい中学校のあり方について慎重に議論を重ねてまいりました。その結果、当中学校の統合を前提とした学区の見直しを図るよう、この 8 月下旬に当委員会から提言書を受けたことから、片浦中学校学区をどのようにするかなどを審議するため、「小田原市学区審議会」を開催する経費として 34 万 9,000 円を計上するものです。当審議会は、一般公募、地域の代表者や学識経験者など計 11 名で構成し、10 月下旬から 11 月ごろまでの計 3 回程度開催する予定でございます。

次に、「青少年健全育成用図書購入費」につきましては、本年 7 月に株式会社「中村屋」から「学校図書として偉人伝を購入して欲しい」とのことで、教育関係寄付金として、7 万 3,035 円のご寄付があり、これを充当し 7 万 4,000 円を計上いたしております。購入図書の内容につきましては、寄付者の意向に沿うよう、偉人を紹介した図書を選定・購入する予定であります。

最後に、「私立幼稚園等就園奨励費補助金」につきましては、私立幼稚園に在園する園児の保護者の経済的な負担軽減を図るため、保護者の所得状況に応じて、国の補助を受けて助成するとともに、国の補助条件に該当しない保護者に対しましても、市の単独事業として、一律 1 万 6,200 円を助成する事業でございます。当補助金につきましては、本年度から、国庫補助の加算対象条件が拡大されたことから、当初予算時、国庫補助対象者を 780 人と見込んでおりましたが、最終的には、820 人程度になる見込みとなりましたので、増額分として 205 万 4,000 円を計上するものでございます。

なお、「歳入」につきましては、国から支給額の約 3 分の 1 が助成されますので、75 万 2,000 円を計上するものでございます。以上でございます。

学校保健課長…それでは、学校保健課分をご説明いたします。(項) 小学校費 (目) 学校

管理経費の食器洗浄機購入費として250万円を計上しております。食器洗浄機といいますのは、各単独調理校に設置されており、使用済みの食器を自動的に洗浄していく機械ですが、富水小学校の食器洗浄機については、昭和60年3月に設置してから20年以上が経過しており、かなり老朽化が激しく修理がきかない状態です。何とか動いていますが、時間の問題ということで、今回計上いたしましたものでございます。この機械は受注生産であり、壊れてもすぐに設置できないため、補正による対応としたものでございます。以上でございます。

文化財統括担当参事…それでは、文化財課分をご説明いたします。(項)社会教育費(目)文化財保護費の史跡小田原城整備経費の馬屋曲輪整備事業費につきまして、馬屋曲輪内にあった馬屋と大腰掛の整備方針の検討を行うために、発掘調査を行うための調査補助委託及び調査員報償等の経費を計上いたすものでございます。調査の概要につきましては、お手元の位置図の資料をご覧いただきたいと存じます。当該地は、史跡小田原城跡馬出門柵形の復元作業を行っている箇所の内側に位置しており、馬屋跡と大腰掛跡の2箇所を対象といたします。「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」に基づき、馬屋と大腰掛の復元整備に向けて検討してまいりましたが、史跡小田原城跡調査・整備委員会で復元をするのであれば根拠をより細かく得るべきだとの指摘がありましたため、平成12・13年に行った試掘調査の範囲を拡大し、より詳細な資料を得るために今回改めて発掘調査を行うものであります。その後、発掘調査の結果をもとに、史跡小田原城跡調査・整備委員会で整備方針の検討を行うものであります。財源としましては、国庫支出金を充当いたします。以上でございます。

スポーツ課長…それでは、スポーツ課分をご説明いたします。(項)保健体育費(目)体育施設費ですが、城山陸上競技場経費として、西側フィールド補修工事請負費2,900万円を計上いたしました。お手元の図面資料をご覧ください。走り高跳びの助走部分が陥没していますので、その補修と、槍投げの部分につきましては、ルール改正により、破線の部分を実線に改修する等の工事を行うものでございます。次に、小田原アリーナ運営経費ですが、図面資料をご覧ください。外壁等防水補修工事請負費として、730万円

を計上しています。資料左の図の、メインアリーナの屋根の部分と、右の図のサブアリーナの東・南・西側の面の補修工事をするためのものがございます。以上でございます。

(質 疑)

山田委員…生徒指導員の賃金ということですが、常駐するのでしょうか。

学校教育課長…そのとおりです。

山田委員…どのような方がなるのでしょうか。

学校教育課長…元教員と青少年相談センターで巡回補導員をされていた方に今お願いをしております。

安藤委員長…何人を予定していますか。

学校教育課長…2人です。

安藤委員長…それで、160万円の予算ですか。

学校教育課長…そのとおりです。

桑原委員…小田原市内すべてを担当するのでしょうか。

学校教育課長…今、緊急に対応しなければならない中学校がございまして、泉中学校を担当します。

横田委員…学校が開いている時間は、どちらかがいるということですか。

学校教育課長…2人ともいることになります。

桑原委員…この間、現役の教師の方から、土曜日の夜に学区内をパトロールするという話を聞きましたが、毎週行っているのでしょうか。

学校教育課長…学校に応じてということになります。

桑原委員…雨の日は、生徒もあまり出歩かないので、取り止めているという話でしたが、対応は、学校によって違うということなのですね。

学校教育課長…そういうことになります。

横田委員…富水小学校の設計委託料の図面資料ですが、斜線部分が体育館の面積になるのでしょうか。

教育政策課長…そうではなく、現状より少し広がる程度となります。

桑原委員…食器洗浄機というのは、各施設で時期をずらして購入しているのでしょうか。

学校保健課長…各施設とも、だいたい昭和60年代に設置しており、機械が老朽化していく可能性がございまして、毎年度予算要求をしているところでございます。今回は、富水小学校分が、どうももたないということで予算計上したものです。

安藤委員長…私の保育園でもそうですが、毎日使うので、補修が重なります。給食とおやつの2回ですので、消耗が早いです。学校でも長時間動かしているので大変だと思います。最後には「部品がない」などと言われてしまいますし。

(その他質疑・意見等なし)

(4) 委員長閉会宣言

平成20年9月29日

委 員 長

署名委員（桑原委員）

署名委員（横田委員）